グループネットワーク

●関連会社案内

MIMAKI USA,INC.
150 Satellite Boulevard, suite A,
Suwanee, GA 30024
http://www.mimakiusa.com

MIMAKI EUROPE B.V.
Stammerdijk 7E, 1112AA Diemen,
The Netherlands
http://www.mimakieurope.com

株式会社グラフィッククリエーション
〒141-0001 東京都品川区
北品川5-9-41 TKB御殿山ビル
http://www.graphic-creation.com

御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司
浙江省平湖市経済開発区興平一路
西側宏建路北側

台湾御牧股份有限公司
台中縣潭子鄉中山路3段37號

株式会社ミマキプレシジョン
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3
http://www.mimakiprecision.co.jp/

株式会社ウィズテック
〒192-0903
東京都八王子市万町1-3
http://www.wiztec.co.jp/

Mimaki-nbn GmbH
Gewerbestr. 11, 82211 Herrsching,
Germany
http://www.mimaki.de/

●事業所案内

★ 本社・牧家工場　〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
加沢工場　〒389-0514 長野県東御市加沢1333-3
長野開発センター　〒380-0803 長野県長野市三輪1-8-14
東京支社　〒141-0001 東京都品川区北品川5-9-41 TKB御殿山ビル
大阪支店　〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-13-41 NF江坂ビル
札幌営業所　〒060-0032 北海道札幌市中央区北2条東1-5-2 サニープリンス1F
仙台営業所　〒984-0825 宮城県仙台市若林区古城3-10-7
長野営業所　〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
さいたま営業所　〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤5-8-41 読売浦和ビル1F
金沢営業所　〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2-12-6
名古屋営業所　〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口1-309
広島営業所　〒731-0101 広島県広島市安佐南区八木1-7-25
福岡営業所　〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚5-11-15

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	単元株制度無し
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
公告方法	当社ホームページ(http://www.mimaki.co.jp)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	6638

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Business Report 2009

2009年3月期 第34期報告書

2008.4.1－2009.3.31

株式会社ミマキエンジニアリング
証券コード 6638

Mimaki®

ミマキエンジニアリングは、
インクジェットと
カッティングの技術を柱として、
オンデマンド生産の
可能性を追求する、
市場志向の開発型企業を
目指しています。

経営ビジョン

1 独自技術を保有し、
自社ブランド製品を世界に供給する
「開発型企業」を目指します。

2 顧客に満足いただける製品を
素早く提供する、
小回りの利いた会社を目指します。

3 市場に常に「新しさと違い」を
提供するイノベーターを
目指します。

4 各人が持っている個性・能力を
力一杯発揮できる企業風土を
目指します。

To Our Shareholders

株主の皆様へ

株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長
池田　明

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社第34期（2008年4月1日から2009年3月31日まで）が終了いたしましたので、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

営業の概況

当期におきまして、当社グループは“品質を高める”をスローガンに掲げ、お客様のオンデマンド・ビジネスをサポートするための施策を積極的に展開してまいりました。

具体的施策といたしましては、SG（サイングラフィックス）市場向けに、2008年8月よりプリントとカットの2つの機能を併せ持つCJV30シリーズ、消費電力の少ないUV-LED方式を採用したUV硬化インクジェットプリンタUJV-160の発売を、2009年2月より当社の主力製品であるJV33シリーズにおける2.6m幅のスーパーワイドフォーマットプリンタJV33-260の発売をそれぞれ開始し、TA（テキスタイル・アパレル）市場向けでは、2009年2月よりスポーツアパレル向け昇華転写プリンタTPC-1000、TS3-1600、TS5-1600AMFの3機種の発売を開始し、製品ラインナップの充実によるお客様への新たな提案を行ってまいりました。

カスタマーサービス面では、テクニカルコールセンターによるアフターフォローをはじめ、ワールドワイドでのカスタマーエンジニアのスキルアップを図ると共に、インク販売等アフターサービスの充実にも引き続き注力し、当社グループ全体のサービス向上に取り組みました。

事業の拡大への対応として、2008年7月にドイツの販売子会社Mimaki-nbn GmbHを取得し、販売体制の強化を行っております。

その結果、当連結会計年度の売上高は243億94百万円（前連結会計年度比13.6%減）と世界経済の不況等の影響を受けて低迷し、営業利益は31百万円（同98.4%減）、経常損失3億16百万円（前連結会計年度は経常利益17億10百万円）、当期純損失4億45百万円（前連結会計年度は当期純利益9億84百万円）となりました。

なお、配当につきましては、当期純損失を計上する結果となりましたが、期初の計画どおり期末配当を700円とし、中間配当の700円と合わせ年間で1,400円とさせていただきますので、ご査収くださいますようお願い申し上げます。株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次期の見通し

世界経済は、長引いているサブプライムローン問題を発端とした世界的な不況から脱するためには相応の時間を要すると思われますが、当社グループは、従来製品より高速・高画質なUV-LED方式のJFX-1631等の新製品投入を行い、市場ニーズにマッチした明確に差別化できる製品の開発により製品ラインナップを強化してまいります。併せて、当社製品の特性を的確に訴求する提案力の向上に努めることにより更なる成長が望めるものと考えております。

通期（2010年3月期）業績予想（連結）

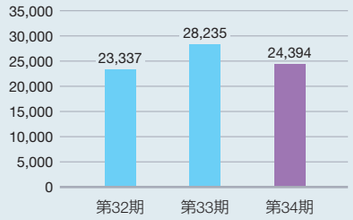
	第2四半期累計（予想）		通期（予想）	
	金額（百万円）	前年同期比増減（%）	金額（百万円）	前期比増減（%）
売上高	11,935	△9.9	26,105	7.0
営業利益	△535	–	201	537.4
経常利益	△604	–	67	–
当期純利益	△353	–	39	–

Financial Report

業績ハイライト（連結）

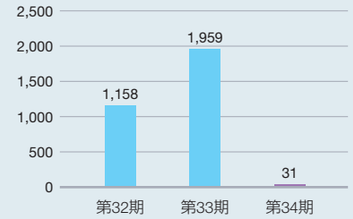
売上高

単位:百万円



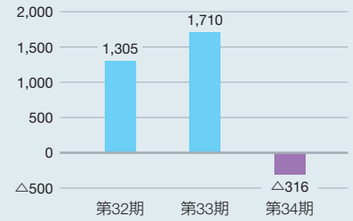
営業利益

単位:百万円



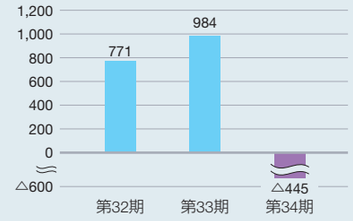
経常利益

単位:百万円



当期純利益

単位:百万円

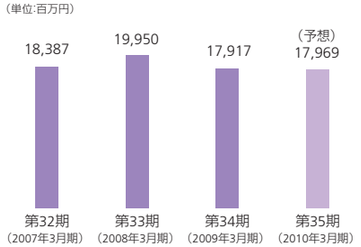


Financial Highlight
財務ハイライト（連結）

対象市場別概況 08-09

SG（サイングラフィックス）市場

●売上高　：179億17百万円
●前年同期比　：10.2％減



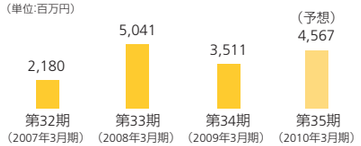
当市場向け製品は、広告・看板等のサイングラフィックス市場向けの機種群であります。

当期は、2008年8月より発売を開始した、プリントとカットの2つの機能を併せ持つCJV30シリーズ、消費電力の少ないUV-LED方式を採用したUV硬化インクジェットプリンタUJV-160、2009年2月より発売を開始した主力製品JV33シリーズにおける2.6m幅のスーパーワイドフォーマットプリンタJV33-260の新製品を中心に、積極的な販売活動を展開いたしましたが、主力製品のJV33シリーズでは堅調な推移となったものの、高価格帯の製品である上位機種の落ち込みやインク等消耗品売上にも伸び悩み傾向が現れる等、全体では大きく落ち込みました。その結果、売上高は179億17百万円（前連結会計年度比10.2％減）となりました。

CJV30-60　CJV30-100
CJV30-130　CJV30-160

IP（インダストリアルプロダクト）市場

●売上高　：35億11百万円
●前年同期比　：30.3％減



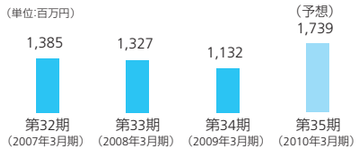
当市場向け製品は、工業製品の製造現場等のインダストリアルプロダクト市場向けの機種群であります。

様々な業界に向け多品種少量生産・コスト削減・クイックレスポンスの課題解決策として、当社製品によるデジタル化の提案に注力いたしましたが、当期は、特段の新製品がなかったことや当該機種群の製品本体が高価格帯の製品であることから、世界的な不況の影響を受けて大きく落ち込みました。その結果、売上高は、35億11百万円（同30.3％減）となりました。

JFX-1631

TA（テキスタイル・アパレル）市場

●売上高　：11億32百万円
●前年同期比　：14.7％減



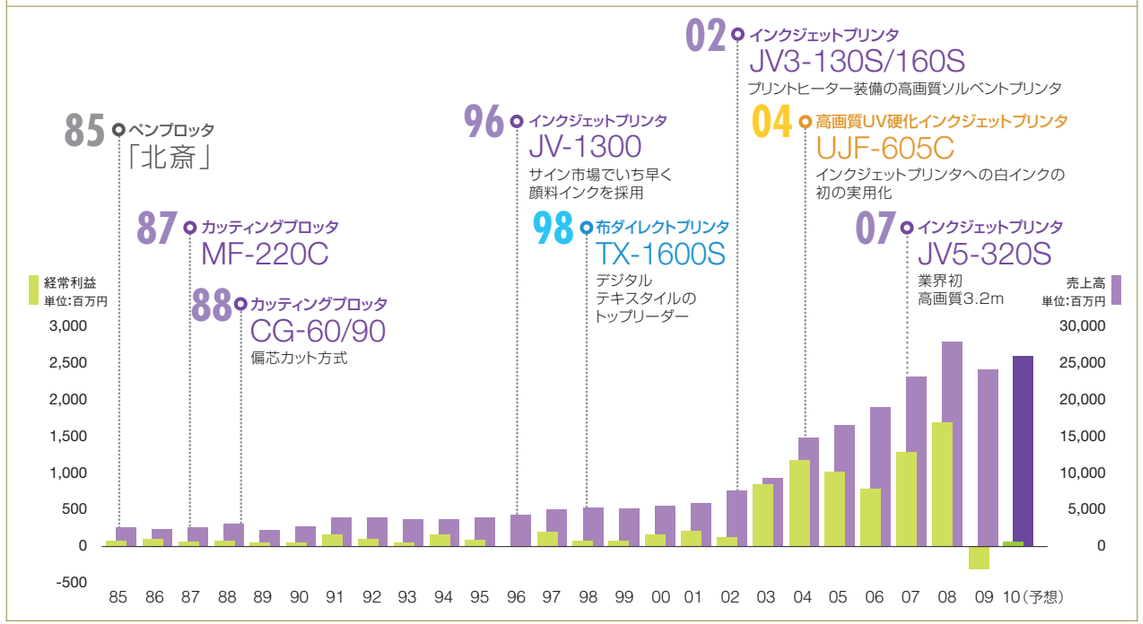
当市場向け製品は、裁断・縫製加工前の生地（テキスタイル）、Tシャツ等の既製服（アパレル）等の市場向け機種群であります。

当期は、2009年2月より発売を開始した、スポーツアパレル向けプリンタカッターTPC-1000、2リットルの大容量インクパックが使用できるTS3-1600、TS5-1600AMFの販売期間が短かったため、現行機種の販売が中心となりましたが、インク等消耗品売上が不振となったため、全体でも落ち込みました。その結果、売上高は11億32百万円（同14.7％減）となりました。

TPC-1000

Trends in Business Performance
業績の推移

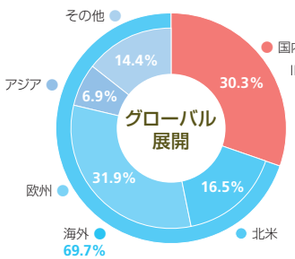
業績の推移

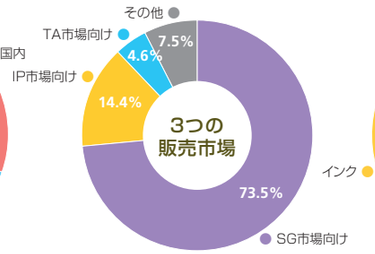


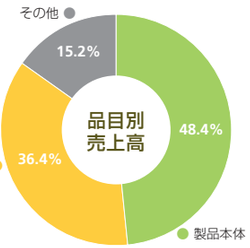
2009年3月期

連結売上高
24,394 百万円

対前年同期比
△13.6 %







New Product
新製品ニュース

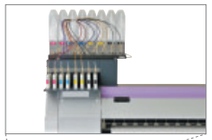
New Product 01

進化を続けるJV33シリーズの新製品

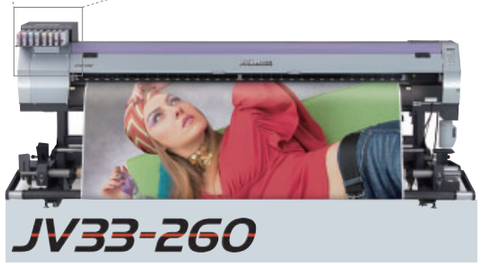
JV33-260

美しいだけでは、物足りない

2009年2月、高画質・高速性能、究極のコストパフォーマンスを実現したJV33シリーズに、スーパーワイドサイズのニューモデルが登場しました。新機能を搭載したJV33-260は、最大幅2.6m、重さ100kgまでの重量ロールメディアの確実な搬送を実現するAMF（オートメディアフィーダー）を標準装備しています。また、同時発売のMBIS（バルクインク供給システム）の搭載により、最大40%のインクコスト低減に成功。長時間連続プリントが可能で、廃棄物が少ないため、環境負荷を抑える効果も期待できます。



MBIS
（バルクインク供給システム）



New Product 02

スポーツアパレル向け昇華転写プリンタ

TS3-1600 / TS5-1600AMF

お客様ニーズからビジネスが広がる

2009年2月、スポーツアパレル市場向け新製品の発売を開始しました。TS3-1600は、高画質で導入しやすい価格を実現した普及機モデルで無人連続プリントを可能にする大容量2リットルのMBISを搭載するほか、最大重量25kgまでのロールメディアを連続巻取りすることができます。TS5-1600AMFは、高画質であることに加え高速でのプリントとAMFにより、最大重量38kgまでのメディアを安定して供給することができるハイエンド・高速プリントモデルです。いずれもポリエステル素材のスポーツウェアや水着などに鮮やかにプリントし、多品種小ロット注文にも即座に対応できるスポーツアパレル向けの昇華転写プリンタです。

Topics
トピックス

Topics 01

JAPAN SHOP 2009

広告看板業界で注目を集める一大イベント「JAPAN SHOP 2009」に出展し、インクジェットプリンタを活用した様々なサイン・ディスプレイに役立つ各種の提案を行いました。当社のブースには、例年にも増して多くのお客様にご来場いただきました。JV33-130、UJV-160におけるホワイトインクの新たな可能性を広げる提案、CJV30-60におけるプリント＆カットの連続加工等、当社の新技術に注目が集まりました。展示会での積極的な販促活動を通して、お客様の様々な課題解決と購入意欲の促進につながる魅力的な製品開発を行っていきたいと考えております。

Topics 02

2008 DPI Product of the Year 2部門受賞

2008年10月に米国Atlantaで開催されたSGIA2008で、当社のインクジェットプリンタが「Product of the Year」を受賞いたしました。このコンテストは、デジタルイメージングの専門家の選定によるもので、当社の2製品、大型フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタJF-1631と縫製品ダイレクトインクジェットプリンタGP-604Dは、最高画質を表現するインクジェットプリンタと認められました。

Topics 03

第2回ミマキまつり＆工場見学会を開催

地域の皆様に当社の事業内容をご紹介するとともに、感謝の気持ちをお伝えし、親睦交流を図ることを目的に、2008年10月25日「第2回ミマキまつり＆工場見学会」を開催いたしました。当日は、昨年度を上回るご来場者の皆様に、当社ショールーム見学や工場見学、また、ミニSLを始めとする各種アトラクションへご参加いただきました。地域の皆様にご支援いただき盛大に開催することができました。

賑わうショールーム見学

ミニSL

Topics 04

ISO14001の認証を取得

当社は、環境保全と企業経営の共生を目指した環境経営の実現に向けて、2007年9月より環境マネジメントシステムの構築に取り組んでまいりましたが、この度2009年1月28日付で、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得いたしました。今後も、環境保全に配慮した企業活動に全社を挙げて取り組んでまいります。

登録事業所

株式会社ミマキエンジニアリング
本社地区（本社・牧家工場、加沢工場、長野営業所）、東京支社、大阪支店及び株式会社ミマキプレシジョン

登録範囲

コンピュータ周辺機器及び
ソフトウェアの開発・製造・販売・保守サービス

Product Development History

製品開発史

1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009

Drafting Plotter ドラフティングプロッタ

■2月 MF-120 A2フラットペンプロッタ「北斎」

■4月 MX-11/10 サーボ方式縦型ペンプロッタ

■7月 MG-110 A1縦型ペンプロッタ「北斎」

■5月 MR-11 サーマルプロッタ

■7月 MX-11/10P 鉛筆プロッタ

■4月 MX-760/790 高速鉛筆プロッタ

■1月 MX-340/360/390 ローコスト鉛筆プロッタ

■11月 MR-1600 LED方式プロッタA1版

■3月 JP-560/590 モノクロインクジェットプロッタ

■5月 MR-1900 LED方式プロッタ AO版

■12月 JP-660/690C フルカラーインクジェットプロッタ

Ink-jet Printer インクジェットプリンタ

■4月 JV2-130 6色顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ

■10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラーインクジェットプリンタ

■10月 Raster Link PS2対応ソフトウェアRIP

■10月 TX-1600S テキスタイル用インクジェットプリンタ

■11月 JV2-180 大型カラーインクジェットプリンタ

■11月 TX Link テキスタイル用ソフトウェアRIP

■6月 JV4-130/160/180 大型フルカラーインクジェットプリンタ

■8月 TX2-1600 テキスタイル用インクジェットプリンタ

■9月 JV3-130S/160S ソルベントインクジェットプリンタ

■10月 Raster Link Pro PS3対応ソフトウェアRIP

■1月 DM2-1810 大型フラットベッドインクジェットプリンタ

■4月 JV3-250SP 超ワイドソルベントインクジェットプリンタ

■11月 GP-604 Tシャツ用インクジェットプリンタ

■3月 UJF-605C フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ

■3月 UJV-110 ロールタイプUV硬化インクジェットプリンタ

■6月 JV22-130/160 フルカラーインクジェットプリンタ

■6月 JV3-160SP ソルベントインクジェットプリンタ

■10月 JV3-75SPⅡ/130SPⅡ ソルベントインクジェットプリンタ

■10月 Tx3-1600 テキスタイル用インクジェットプリンタ

■3月 GP-604D 抜染液対応インクジェットプリンタ

■4月 UJF-605R ロールタイプUV硬化インクジェットプリンタ

■5月 JV3-250SPF ソルベントインクジェットプリンタ

■8月 Raster Link Pro Ⅱ PS3対応ソフトウェアRIP

■10月 GP-1810D 抜染液対応インクジェットプリンタ

■11月 DS-1600/1800 ダイレクト昇華プリンタ

■12月 JV3-130SL ソルベントインクジェットプリンタ

■1月 Mimaki Profile Master カラーマネジメントシステム

■6月 JV5-130S/160S 超高速ソルベントインクジェットプリンタ

■12月 JF-1610/1631 大型フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ

■1月 UJF-605CⅡ フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ

■8月 JV5-320S グランドフォーマットソルベントインクジェットプリンタ

■8月 JV33-130/160 ソルベントインクジェットプリンタ

■8月 UJF-605RⅡ ロールタイプUV硬化インクジェットプリンタ

■9月 Raster Link ProⅢ/IPⅢ/TAⅢ PS3対応ソフトウェアRIP

■1月 IPF-1610B/1610B-U 産業用フラットベッドUV硬化インクジェットプリンタ

■7月 Mimaki Profile MasterⅡ カラーマネジメントシステム

■8月 CJV30-60/100/130/160 プリンタカッター

■8月 Raster Link Pro4 SG/IP/TA PS3対応ソフトウェアRIPカッティングソフトウェア

■9月 UJV-160 LED方式UV硬化インクジェットプリンタ

■2月 JV33-260 超ワイドソルベントインクジェットプリンタ

■2月 TPC-1000 スポーツアパレル向けプリンタカッター

■2月 TS3-1600 スポーツアパレル向け昇華転写プリンタ

■2月 TS5-1600AMF スポーツアパレル向け昇華転写プリンタ

■4月 Raster Link Pro5 SG/IP/TA PS3対応ソフトウェアRIPカッティングソフトウェア

■5月 JFX-1631 大型フラットベッドLED方式UV硬化インクジェットプリンタ

Cutting Plotter カッティングプロッタ

■3月 MF-220C A2フラットカッティングプロッタ

■6月 CG-45 デスクトップカッティングプロッタ

■10月 CG-60/90 海外向け縦型カッティングプロッタ

■12月 CF-70 A1フラットベッドカッティングプロッタ

■10月 CG-90SD 縦型カッティングプロッタ

■11月 CG-90AP アパレル用型紙カッター

■1月 CG-120 ロール自動送り付カッティングプロッタ

■6月 MC-300S 卓上カッティングプロッタ

■9月 CF-120 120cm幅フラットベッドカッティングプロッタ

■1月 CG-50 高速カッティングプロッタ

■11月 CG-100SD 高速カッティングプロッタ

■12月 MI POP POP作成システム

■12月 一刀彫 墓石用文字切りソフトウェア

■12月 Vesta カッティングソフトウェア

■2月 HF-500 熱ペンカッティングプロッタ

■3月 ME-500 彫刻機

■1月 CG-6/9/12 海外向けローコストカッティングプロッタ

■1月 Vector Link PS対応カッティングソフトウェア（MacOS）

■1月 図作 墓石設計支援システム

■4月 NC-5 モデリングマシン

■7月 My Brain 彫刻システム

■8月 CG-51/61/101/121 ローコストカッティングプロッタ

■10月 CAM LINK カットデータ変換・出力ソフトウェア

■11月 CF-0912/1215 大型フラットベッドカッティングプロッタ

■1月 CG-100AP 1m幅アパレル用型紙カッター

■3月 My Brain Vehicle カーフィルム用カッティングシステム

■5月 CG60/100/130EX トンボセンサー付カッティングプロッタ

■12月 CG-60St ローエンドカッティングプロッタ

■6月 CG-100/130Lx 高速カッティングプロッタ

■1月 Fine Cut Illustlator用プラグインカッティングソフトウェア

■6月 CFR-1220 レシプロカッター

■6月 Fine Cut for Corel Corel DRAW用カッティングソフトウェア

■6月 CG-130FX 高速トンボセンサー付カッティングプロッタ

■4月 CG-160FX 高速トンボセンサー付大型カッティングプロッタ

■10月 CG-75ML+ JV3-75SP Ⅱ プリンタ&カッティングユニット

■12月 CF2シリーズ フラットベッドカッティングプロッタ

■10月 CG-60SR デスクトップ型カッティングプロッタ

■11月 CG-60SL 海外向け低価格デスクトップ型カッティングプロッタ

■1月 CF3-1631/1610 ルータ対応大型フラットベッドカッティングプロッタ

■3月 CG-75/130/160FXⅡ 高精度・高機能マルチカッティングプロッタ

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

科目 単位：百万円	前期 2008年3月31日現在	当期 2009年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,912	15,771
固定資産	6,939	8,331
有形固定資産	5,744	6,540
無形固定資産	331	751
投資その他の資産	862	1,039
資産合計	23,851	24,103
負債の部		
流動負債	14,574	13,427
固定負債	973	3,636
負債合計	15,548	17,064
純資産の部		
株主資本	8,201	7,420
資本金	2,015	2,015
資本剰余金	1,903	1,903
利益剰余金	4,283	3,702
自己株式	–	△ 199
評価・換算差額等	△ 49	△ 391
新株予約権	150	9
純資産合計	8,303	7,039
負債純資産合計	23,851	24,103

連結損益計算書（要旨）

科目 単位：百万円	前期 自 2007年4月1日 至 2008年3月31日	当期 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日
売上高	28,235	24,394
売上原価	15,186	13,952
売上総利益	13,048	10,441
販売費及び一般管理費	11,089	10,409
営業利益	1,959	31
営業外収益	86	104
営業外費用	335	451
経常利益又は損失（△）	1,710	△ 316
特別利益	24	334
特別損失	53	83
税金等調整前当期純利益又は損失（△）	1,680	△ 64
法人税、住民税及び事業税	723	118
過年度法人税等	15	–
法人税等調整額	△ 42	262
当期純利益又は損失（△）	984	△ 445

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科目 単位：百万円	前期 自 2007年4月1日 至 2008年3月31日	当期 自 2008年4月1日 至 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 710	△ 689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,691	△ 2,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,033	2,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 39	△ 81
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,407	188
現金及び現金同等物の期首残高	4,769	3,362
現金及び現金同等物の期末残高	3,362	3,550

連結株主資本等変動計算書（要旨）

当期（自2008年4月1日 至2009年3月31日）

単位：百万円	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2008年3月31日残高	2,015	1,903	4,283	–	8,201	△ 1	△ 48	△ 49	150	8,303
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 95		△ 95					△ 95
当期純損失			△ 445		△ 445					△ 445
自己株式の取得				△ 199	△ 199					△ 199
在外子会社の会計処理変更に伴う増減			△ 40		△ 40					△ 40
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 3	△ 337	△ 341	△ 141	△ 482
連結会計年度中の変動額合計	–	–	△ 581	△ 199	△ 781	△ 3	△ 337	△ 341	△ 141	△ 1,264
2009年3月31日残高	2,015	1,903	3,702	△ 199	7,420	△ 4	△ 386	△ 391	9	7,039

※全ての記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Company Profile / Stock Information

会社概要・株式情報

会社の概況（2009年3月31日現在）

商号	株式会社ミマキエンジニアリング
設立	1975年8月
資本金	20億1,516万円
本社・工場	長野県東御市滋野乙2182-3 0268（64）2281（代表）
従業員	連結752名/単体518名
事業内容	コンピュータ周辺機器および ソフトウェアの開発・製造・販売
取引銀行	（株）八十二銀行・（株）三井住友銀行 （株）三菱東京UFJ銀行・（株）みずほ銀行

役員（2009年6月26日現在）

代表取締役社長	池田　明
代表取締役副社長	野口　幹夫
取締役副社長	小林　久之
専務取締役	藤田　正秋
常務取締役	佐金　榮
取締役	木村　信行
取締役	田林　勲
取締役相談役	田中　規幸
常勤監査役	土屋　理義
監査役	今井　征芳
監査役	岩下　智和
監査役	土屋　幸夫

株式の状況（2009年3月31日現在）

発行可能株式総数 200,400株

（注）2008年4月1日付をもって当社定款を変更し、66,800株から200,400株となっております。

発行済株式の総数 69,600株

（注）2008年1月11日開催の取締役会の決議に基づき、2008年3月31日現在の株主様に対し、2008年4月1日付でその所有株式1株につき3株の割合をもって分割したため46,400株増加し、69,600株となっております。

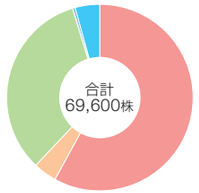
株主数 2,727名

大株主の状況

株主名	持株数（株）	出資比率（%）
株式会社池田ホールディングス	10,500	15.09
ミマキエンジニアリング従業員持株会	6,238	8.96
田中　規幸	6,212	8.93
有限会社田中企画	6,000	8.62
東京中小企業投資育成株式会社	3,810	5.47
株式会社八十二銀行 （常任代理人　日本マスタートラスト信託銀行株式会社）	2,100	3.02
アヴァシス株式会社	1,800	2.59
池田　明	1,784	2.56
田中　芳子	1,200	1.72
藤田　正秋	931	1.34

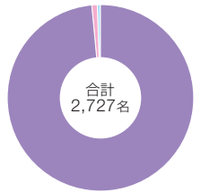
（注）当社は自己株式2,989株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

所有者別株式分布状況



個人その他	40,349株	57.97%
金融機関	2,832株	4.07%
その他法人	23,100株	33.19%
外国法人等	92株	0.13%
金融商品取引業者	238株	0.34%
自己株式	2,989株	4.30%

所有株数別株主数分布状況



1株以上100株未満	2,686名	98.50%
100株以上500株未満	26名	0.95%
500株以上	15名	0.55%